

# 【日本】Case Study 1 自主的・自発的な地域コミュニティの形成



## → 都市郊外団地におけるコミュニティ拠点を起点とした支援活動等の展開

○ 高齢者見守り拠点の設置を契機に多様な地域コミュニティ活動が展開されている事例

たてがおか  
[館ヶ丘団地(東京都八王子市)]

### ● 館ヶ丘団地

- ・ 東京都西部の郊外部に位置。都心(東京駅)まで約80分(電車60分、バス20分)
- ・ UR都市機構が1974年に管理を開始した団地(賃貸住宅約2,800戸)。約3,200人が居住。(2018年3月現在)



館ヶ丘団地の位置



館ヶ丘団地の住棟

### ● 取組の内容

#### ① ふらっと相談室の設置\*による「交流の場」の形成、地域情報の収集

##### 【相談室の主な活動内容】

- ・ 高齢者の見守り
- ・ 介護保険サービス等に関する相談

##### 【運営体制】

- ・ 月～金(祝日を除く)
- ・ 午前9時～午後5時



ふらっと相談室

##### 【交流の場の形成、地域情報の収集】

- ・ 「ふらっとカフェ」の開設
- ・ 「団地の縁側」の開設(自治会が運営)

#### ② 高齢者を支援する新たな取組の生成

##### 【自転車タクシーの運営】

- ・ 電動機付自転車を改造。運転席の前方に高齢者が乗車
- ・ 自治会スタッフ、相談室の職員のほか、住民ボランティアが運転



自転車タクシー

##### 【高齢者の食を支える取組】

- ・ 団地内にコミュニティ食堂をオープン

#### ③ 学生と地域の交流機会の創出

複数の大学の学生が、ボランティアとして団地内で様々な活動を実施

##### 【主な活動内容】

- ・ 「ふらっとカフェ」での給仕
- ・ 高齢者の話し相手
- ・ 夏の熱中症予防のための声かけ、冷たい飲み物の提供
- ・ 団地の自治会や商店街が主催するお祭りへの参加

など

\*高齢者の見守り拠点として八王子市が設置。相談室は、八王子市保健生活協同組合が八王子市からの委託を受けて運営。